

令和5年度 第1回 松江市生活環境保全審議会

1 日時 令和5年4月12日(水) 10:00~11:00

2 場所 島根県市町村振興センター 大会議室

3 出席者

(1)委員 6名

赤川楊桜子委員、安部吉輝委員、河原和美委員、桑原正樹委員、佐藤尚士委員、
松本一郎委員

欠席者 4名

岡崎泰幸委員、加原征子委員、藤原人美委員、松浦俊彦委員

(2)事務局 7名

上定市長、花形環境エネルギー部長、余村環境エネルギー部次長、石倉環境政策係長、
福間行政専門員、松浦副主任、石原副主任

4 次第

(1)開会

(2)市長あいさつ

(3)会長・副会長 互選

(4)諮問

松江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改定について

(5)議事

① 地球温暖化対策実行計画改定の概要 ……資料1

② 審議会開催スケジュール ……資料2

(6)閉会

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市環境エネルギー部環境エネルギー課

(1) 開会

○石倉政策係長

ただいまより、令和5年度第1回松江市生活環境保全審議会を開催します。

本日、議事に入るまでの進行役を務めさせていただきます環境エネルギー課の石倉でございます。よろしくお願いいたします。

この委員会は、松江市情報公開条例及び審議会等の公開に関する要綱の規定により、すべて公開にて行います。また、会議録を作成するために録音機を使用させていただきますことをご承知おきください。

なお、議事整理及び録音の都合上、ご発言の際は挙手をいただき、マイクを使用してお話くださいますようお願いいたします。

本日の会議は、概ね午前11時00分を終了予定時刻としています。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたり、上定松江市長よりご挨拶を申し上げます。

(2) 市長あいさつ・委嘱状交付

○上定市長

皆さんおはようございます。松江市生活環境保全審議会の委員にご就任いただきまして誠にありがとうございます。また、本日はお忙しい中、朝からお集まりいただきましたことお礼申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。今回、第1回の審議会で私の方から諮問させていただきますが、カーボンニュートラルの取り組みについては、今回策定を予定しております、地球温暖化対策実行計画が道しるべとなり、非常に重要なものになるものと位置づけております。皆さま方からご意見を頂いた上で策定に取りかかっているところでございます。若干ではございますが、これまでの経緯について後ほど諮問させていただくときにもお話しいたしますが、述べさせていただきます。

政府の方で、令和2年10月に当時の菅内閣総理大臣が2050年カーボンニュートラルを宣言されました。それを受ける形で直ちに松江市の方でも令和2年12月にゼロカーボンシティという表明をさせていただいております。その後、令和3年3月に松江市の環境基本計画というのを策定しております、その中で、カーボンニュートラルの取り組みを重点目標と位置づけて取り組みをスタートしたというところがございます。その後、実は私が市長に就任いたしまして昨年の6月には、企業と連携して再生可能エネルギーの取り組みを進めようと山陰合同銀行と中国電力と松江市と3者間の協定を結ばさせていただきました。そして今年の3月に松江商工会議所と東京海上日動とカーボンニュートラルの取り組みを主に企業と児童学生の皆さんに対する啓発といったところから進めていこうということで提携を結ばさせていただいております。同じく、今年の3月には、環境省の方に来ていただいて市民向けのセミナーを開催いたしました。それから同じくして再生可能エネルギービジョンというものも策定しております、再生可能エネルギーを含めたカーボンニュートラルの取り組みを市として全力で推進しているところがございます。今回、皆さまに諮問させてい

たきます地球温暖化対策実行計画が、今後、我々がオール松江市で地球温暖化対策に取り組んでいく指針になるというのは先程申し上げたとおり、非常に重要な位置づけと思い、諮問させて意見をいただきたいと思っているところでございます。皆さま方にはお忙しい中お時間を割いていただくこととなり大変恐縮でございますが、是非ご意見をいただきまして、良いものをつくりそしてそれを実際に実行してカーボンニュートラルの取り組みを進めて参りたいと思っております。何卒、よろしくお願いいたします。

○石倉環境政策係長

続きまして、委員のみなさまに委嘱状を交付させていただきます。当審議会の委員委嘱につきましては、本年2月1日の改正により、2年間の任期となっております。委員の皆さまにおかれましては、松江市の環境施策の推進にあたり、それぞれのご専門・ご見識から、多方面よりご意見、ご審議くださいますようどうぞよろしくお願いいたします。なお、交付につきましては、本来ならばお一人ずつ手交させていただくところではございますが、会議時間短縮の観点から、それぞれの席上への配布に代えさせていただきますので、ご承知ください。

また、お手元にお配りしております委員名簿により、皆様のご紹介に代えさせていただきます。大変略式により恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、名簿につきましては、一部訂正がございますのでご報告させていただきます。安部吉輝さまにおかれましては、役職が監事ではなく、副会長でございます。訂正をお願いいたします。申し訳ございませんでした。

ここで、会議の成立についてご報告いたします。当審議会の会議開催につきましては、松江市の生活環境の保全に関する条例第27条により、委員の半数以上の出席が求められています。

本日は、委員10名中、6名がご出席ですので、会議の開催について成立いたしますことをご報告申し上げます。

(3) 会長・副会長 互選

○石倉環境政策係長

続きまして、会長及び副会長の選出でございます。会長・副会長につきましては、松江市の生活環境の保全に関する条例第25条により、委員の互選によるものと規定されております。皆さまよりご提案はございますでしょうか。

○安部委員

そちらに案がございましたらそれをお聞かせください。

○石倉環境政策係長

そうしますと、事務局より案がございますので、ご審議のほどお願いいたします。

○余村環境エネルギー一部次長

皆さんおはようございます。環境エネルギー部の余村です。私の方から、事務局案を申し上げさせていただきます。会長に松本一郎委員、副会長に佐藤尚士委員の案でございます。

○石倉環境政策係長

事務局案についてご意見ございませんでしょうか。

よろしければ、拍手にてご確認をお願いいたします。

(一同、拍手)

ありがとうございます。それでは、会長に松本一郎委員を、副会長に佐藤尚士委員を選出いただきました。どうぞよろしくをお願いいたします。

松本会長、佐藤副会長は前方の席へご移動をお願いします。

(4) 諮問

○石倉環境政策係長

続きまして、市長より当審議会あて諮問でございます。上定市長、松本会長、前へお願いいたします。

○上定市長

松江市地球温暖化対策実行計画区域施策編の改定について諮問をさせていただきます。

松江市の生活環境の保全に関する条例第 22 条第 2 項の規定に基づき、松江市地球温暖化対策実行計画区域施策編の改定について、貴審議会の意見を求めます。

諮問理由を述べさせていただきます。

近年、我が国においても、地球温暖化などに伴い自然災害が頻発しており、私たちが生活を送るうえで重大な脅威となっています。

2020 年 10 月には、当時の菅内閣総理大臣が 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。国の目標として、温室効果ガスの排出量を 2030 年までに 2013 年度実績比で 46%削減し、2050 年までに実質ゼロにすることを掲げています。この目標の達成に向けて、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進など、民間・公共を問わずあらゆる分野で脱炭素化に向けた取り組みが進められています。電力の需要家である一般家庭や民間事業所では、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えや、省エネルギー機器の導入などが広がっています。

一方、本市においては、2020 年 12 月に、ゼロカーボンシティを表明し、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることを目標としました。2021 年 3 月に策定した、松江市環境基本計画では、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現を重点目標に掲げ、そのための施策を推進しています。

これらを踏まえ、本市における地球温暖化対策を着実かつ効果的に展開する必要があること

から、松江市地球温暖化対策実行計画区域施策編の改定について、貴審議会に意見を求めるものです。

○石倉環境政策係長

それでは、諮問がございましたので早速審議に入りたいと思います。なお、議事の進行につきましては、松本会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(5) 議事

○松本会長

失礼いたします。開会に先立ちまして、私の方からこの会議について述べさせていただきます。地球温暖化対策実行計画につきましては、先程、上定市長からもありましたように、この松江市で温暖化という言葉が誕生すると同時にできたものかなと思っています。松江市には自然豊かな環境と発信力があると思います。日本のみならず、世界各国に温暖化と気候変動をストップするということを発信するに相応しいまち、都市だと思っています。2050年カーボンニュートラルやゼロエミッションという言葉があります。SDGs や環境という面でいうと、1975年国連の会議、ベオグラード憲章のときから持続可能な世の中、持続可能な社会というものが国際共通言語として登場しました。その後、言葉を変えて地球の環境を守るというところにシフトしているということだと思います。資料の中にも見受けられますが、この気候変動、特に温暖化は非常に危機的な状況にあると思います。温暖化は人のせいではないという懐疑的な意見もありますが、世界中のほぼ全ての研究者、行政の人たちが産業革命以降の地球の温度が間違いなく人の関係する所にあるということで認識が一致しています。地球の長い時間をかけての気候変動というのは地球の自らの呼吸です。これは長い時間をかけて暖かくなったり冷たくなったりというのは地球の気持ちなので寄り添っていけます。すごく長い時間があるからです。ただ、この100年200年の間に上昇した温度というのは過去地球が経験したことのない温度上昇です。ストップ温暖化という言葉は聞きますが、実は、産業革命の時に比べて気温が1.5度を越えてしまうと後戻りは出来ないと科学的にいわれています。すでに、1.1度上昇しており、あと0.4度しか余裕がありません。ですので、これをストップする先進的な都市としてアピールを松江市が出来るのではと思っています。ここには、色々な立場の人が集まっております。国がやること県がやること市がやること、一番市民が身近に感じられるのが市町村レベルであるとする、私たちが策定する地球温暖化対策実行計画というものは非常に大きな意味を持っておりますので、どうぞ皆さんの率直なご意見そして議論を充実させて市長に完成させてお返しできればと思うところです。今日は4名ほどの委員の皆さまがお休みされていますが、こういう情報を皆さんと共有して進めていけたらと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○石倉環境政策係長

ありがとうございました。それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料 1 松江市地球温暖化対策実行計画 改定の概要
- ・資料 2 審議会スケジュール
- ・参考資料 地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・参考資料 松江市地球温暖化対策実行計画(平成 27 年 4 月策定)
- ・参考資料 松江市再生可能エネルギービジョン(令和 5 年 3 月策定)
- ・参考資料 松江市環境基本計画(令和 3 年 3 月策定)

○松本会長

それでは、議題 1 の「松江市地球温暖化対策実行計画の改定」、議題 2 の「審議会開催スケジュール」について事務局より説明をお願いします。

○余村環境エネルギー部次長

環境エネルギー部の余村でございます。私の方から、議題 1「地球温暖化対策実行計画改定の概要」、議題 2 の「審議会開催スケジュール」について、要旨とスケジュールをご説明いたします。

<議題 1 について、資料 1 を用いて以下の項目を説明>

- ・環境、エネルギーに関する動向と目標(国・県)
- ・計画の位置づけ
- ・松江市の現況(松江市再生可能エネルギービジョン)
- ・審議会の役割と今後の予定
- ・策定の根拠となる法律「地球温暖化対策の推進に関する法律」

<議題 2 について、資料 2 を用いて以下の項目を説明>

- ・審議会の開催スケジュール

○松本会長

ありがとうございました。それでは、事務局の説明に対し、ご意見・ご質問がございましたら、ご発言をお願いします。

資料に記載の内容について、私たち委員がそれぞれ確認することになります。内容については、今回初めて見る方もおられると思いますし、他の会議の中で議論されたことがあるベテランの方もおられると思いますので、まずは自由に今の説明に対してご意見いただけたらと思いますが、どなたかご質問、ご発言ありますでしょうか。後ほど、一人一人今回の思いや狙いをご発言いただく時間を設けたいと思いますので、それを除いて何かありましたら挙手の上ご発言ください。

○安部委員

今回の資料の中には、どこにも SDGs の 3 段構造について書かれていないことが気になりました。また、別の話になりますが、SDGs のことを考えた報道をしっかりとやっていただきたいと思います。例えば、大食い競争やタレントが夏に厚着したり、冬に半袖で出ていたり、そういうのがあまり良くないと思うので、報道にもうちょっとしっかりと貰いたいなと思っています。とりあえずはそのようなことを思いました。

○松本会長

ありがとうございます。SDGs については、私の方からお答えします。松江市の観光戦略プランを作成する中で、ご発言いただいた SDGs の 3 段構造を踏まえて策定しています。この 3 段構造についてご説明します。元々、SDGs ができたときに、1 番から 17 番まで目標があります。まず、一番下に 13 番から 17 番、自然環境の保護と人の構造、つまり自然環境というものが一階部分にあり、その上に社会や経済に関する 7 番から 12 番、その上に私たちの暮らしに関する 1 から 6 番がある構造によって成り立っており、この構造は、松江観光戦略プランの中に織り込ませております。策定の際は、上定市長からもご発言頂いて、その旨を織り込んで発信をしており、今回の計画策定の中にもそのようなことを盛り込んでいこうと思っております。また、SDGs については、SDGs 未来都市を目指しております。細かなところはその都度、ご発言の機会があると思います。

事務局からの説明の中で、スケジュールや法律などについてご説明いただきました。特に、法律については、第 21 条に自然と社会的な変化を勘案して行政として決めなさいということがあります。この中に私たちの諮問の会議があるということになります。先程の資料の中にも記載がありましたが、松江市総合計画の下位計画として、私が会長で諮問させてもらって出来た松江市環境基本計画があります。松江市環境基本計画をひとつひとつ実現し夢のあるものにしていくそれぞれのアクションプランのひとつがこの会議ということになります。今回は、地球温暖化対策実行計画の中の事務事業編と区域施策編について、委員の皆さんに感じたことをご意見いただきたいなと思うところです。

それでは、ひとりひとり自己紹介を兼ねまして、計画について思うところ、これはどうかと思うことも含めてご発言いただけたらと思います。

桑原委員からお願いいたします。

○桑原委員

宍道湖漁業協同組合の桑原と申します。我々は宍道湖の恵みをいただいて生活をさせていただいております。他の業種の方も同じと思いますが、自然のことを考えたときに地球温暖化によつてすごく大きな影響があります。ワカサギという魚は、私が小学生くらいの時は簡単に釣ることが出来ましたが、それが平成 6 年の猛暑からほとんどいなくなってしまって、今は取れなくなっています。水温の上昇というのが影響していると言われており、今でも、高い時では 32 度くらいの時もあ

りますし、最近では海面も高いですから、夏の水位や塩分濃度も上がったというところで、今後地球温暖化の進行というところがすごく目に見えて心配だなと思うところです。前に松本先生からブルーカーボンについて教えていただきましたし、市の方からもブルーカーボンのこととお話を伺いました。それで、元々生えて無いところに水草や藻を生やしてそれを利用して、水草の体の中の炭素分を利用して、それを取り上げることで脱炭素を目指していくという話しでしたが、松江市の場合、宍道湖や堀川などすでに水草が生えているので、わざわざ生やすことなく、既に生えているものを取り上げていけば、現在の水環境を上手く利用することで、脱炭素の取り組みが出来るのかなと思っています。感想になりましたが、どうぞよろしくお願いします。

○松本会長

ありがとうございます。ブルーカーボンの話がありました。非常に大事な観点で、松江市はウォーターフロントであって昔は水草やオゴノリが使われていましたけど、今は使われていませんよね。それをブルーカーボンとして使うというのは非常に大きなことかなと思います。先ほど、上定市長からもありましたが、松江市は中国電力や山陰合同銀行などと連携も強化しておられます。特に、中国電力にはブルーカーボンについて学び、学位を取った方もおられるようなので、是非その辺りの知識を拝借したいなと感じたところです。

○河原委員

はじめまして。島根大学法文学部の河原和美といいます。私は地元が岡山なので、まだ松江のことは詳しくはないですけど、審議会を通して詳しくなりつつ、委員としての役割を果たしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

○松本会長

ありがとうございます。私は教育学部ですが、彼女は法文学部でして、私の SDGs 概論を受講してくれているので、その部分に関して力を発揮してくれることを期待しています。他の地域と比較することも魅力になるので、是非、ご発言いただけたらと思います。

続きまして、簡単にですが私も自己紹介させていただきます。私は昭和 40 年生まれの 57 歳です。島根大学を卒業しています。この街が大変好きなので、10 年間東京で地球環境や資源の仕事をしていました。ODA などいろいろな国や地域を回ってきましたが、その中で比べてみても松江市の持っている環境や人を癒やす力や水辺、松江城があります。そういう街から日本全国や世界に向けて発信できればなということを感じています。SDGs については、今年の 9 月にニューヨークで見直し会議があります。その時に、SDGs の状況について、上定市長をはじめ皆さんにお伝えしていくことが先駆けて出来ると思いますので、そういう役割を果たしながら先程安部委員がおっしゃってくれたように、SDGs の 3 階建て階層構造についても計画の中に織り込んでいけたらなと思います。皆さんどうぞ、よろしくお願いいたします。

続いて、佐藤副会長よろしくお願いします。

○佐藤副会長

失礼します。この度、副会長を務めさせていただきます、まつえ環境市民会議の佐藤でございます。よろしくお願いいたします。まつえ環境市民会議につきましては、ここにありますが実際に市民の皆さん方に落とし込んでいける機会ではないかと思っております。松江市の方々ともよくお話をするのですけれども、話をするたびに分かりやすい資料にしていだけるということで大変ありがたく思っています。今日は副会長とさせていただきましたので、これから資料等も実際に市民の皆さまに分かりやすいものにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、前代表の瀬崎さんとも環境市民会議の改造の度にCO₂の排出量減らすのが我々の任務だと話しておりましたので、意志を引き継いでやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○松本会長

ありがとうございます。佐藤副会長におかれましては、まつえ環境市民会議の代表ということで、松江市と市民をつなげていってほしいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いて、赤川委員よろしくお願いいたします。

○赤川委員

赤川楊桜子です。この生活環境保全委員の前は松江市の消費者教育推進委員の方をやらせていただいております。私は広島育ちで、30年前に松江にやってきました。それから思ったことが、松江市と広島市の街の中を比べると、空気が違うと思います。松江市は、山の鳥が飛んでいます。シラサギも飛んでいます。広島市の街中では、鳩くらいしか鳥は飛んでいないので、空気が綺麗なんだなとすごく感じております。今、仕事としては、児童クラブの子育て支援員をしています。小学校1年生から3年生と付き合いますが、これから暑くなってきますので、外遊びをしたがりますが、梅雨になると雨が降りますし、夏になると日差しの強さが子ども達にはきつく、部屋の中で走り回ったりしています。外だったらもっと気持ちよく遊べると思うのですが、これからそういった厳しい環境を防ぐやり方がここで教えてもらえることがあったらいいなと思っております。それと、この会議の中で資料がありますが、我々市民、普通に生活している者たちにどういう形で教えてもらえるのかなと思いました。そういう機会がたくさん欲しいです。前していた消費者教育推進委員では、委員の中で当たり前に行っていたものが、普通に市民にどのくらい目にする機会があったのかと思うと、やっぱり知る機会が少ないなと思っております。知らない人は全然知らなかったもので、こういうこともなんとなくやるのではなく、具体的に毎日の生活でどこをどうしたらいいのかというのを教えてくれたら、教わりたいなと思いました。

○安部委員

安部でございます。町内会自治会連合会の副会長をしております。私は大根島に住んでおりま

すので、旧松江市の者ではないので、私が出るのが相応しいのかなと思いながら続けさせていた
だいております。現在の松江市は、旧松江市と八束郡の八つの町村が合併しているものですから、
その辺を調整しながら、私も勉強しながらやっていかないといけないなと思っているところです。旧松
江市は堀を埋めなかったですね。お堀を埋めなかったということは環境や景観などを考慮したと
いうことだと思いますが、そういう観点をお持ちの方が松江にいらっしゃることが分かります。大根
島に住んでいると、境港の文化が強いこともあります。皆さんと一緒に色々やっていき
たいと思います。計画なども色々策定し、行政の方も努力されているのだなと思っております。
ひとつよろしく願いいたします。

○松本会長

ありがとうございます。赤川委員からは、地域のことや市民ひとりひとりに届くような手立てが重
要だということをお話いただきました。松江市のホームページの中にも紹介動画で説明しているも
のがありますが、どのような形で表現できれば、興味をもってもらえるようになるのか、ご意見をい
ただけたらいいのかなと思っております。安部委員におかれては八束、大根島にお住まいというこ
とで、今、松江市さんの方で中海のビジョンも策定されているところだと思います。やはり、松江市
はウォーターフロント、宍道湖と中海と日本海に囲まれているので、この辺りの豊かさを守り、温
暖化を防ぐところに持っていきたいと思っております。

○上定市長

皆さま、ご意見・意気込みをお聞かせいただきありがとうございます。皆さまからいただいた
意見に対して、松江市の現状についてお話ししたいと思います。

まず、松江市の総合計画である、MATSUE DREAMS 2030 というのがあります。資料 1 の 2 ペ
ージに出てくる計画の位置づけ図の真ん中あたりにありますが、松江市が市政を進めて行く中での
の最上位になる計画です。この計画にぶら下がって色々な計画があり、先程触れていただいた松
江観光戦略プランもその一つとして策定したところがございます。その中に、SDGs 観光、サステナ
ブルツーリズムという言い方もしますが、そういった概念を含んだものになっています。最近、地
球温暖化対策の概念の中にも必ず入っております。欧米では、シーツを変えなくて良いという選択
ができるホテルやアメニティグッズを置かず宿泊者が持参するようにしているホテルもあります。
このようなホテルでないと泊まりたくないという方が一定者数いらっしゃいます。それが、実際に松
江市が取り組んでいるから泊まりにくいという発想があります。その他、も色々な場面で地球温暖
化対策を進めて行かないといけないという思いはみんな持っていると思います。先程、佐藤委員
から、市民に分かりやすいものをとのご意見や、赤川委員からは毎日の生活の中で何をすれば
良いかという意見がありましたけども、まさによく言われることです。地球温暖化対策が必要であ
ることやエネルギーの枯渇、電気料金が上がっている状況の中でできることがないかと言われま
す。行政としてすべきことは、具体的にこういう風な取り組みを実際にやっていきましょうという道し
るべを示すことで、皆さんと一緒にやっていきたいと思っております。例えば、環境エネルギー部

でリサイクルの取り組みを3つ行っています。ただ、行政だけでは進められないので民間企業と組んで進めております。最初に始めたのはHOYA アイケアカンパニーというコンタクトレンズを作っている会社があります。コンタクトレンズを使用した際に発生する空ケースを従来、普通に捨てていたものを回収するというプロジェクトを松江市が始めております。松江市役所の入口の所に置いておまして、すごく集まっている状況です。文房具などを取り扱っているパイロットという会社と組んで、プラスチックの使い捨てのボールペン、ものさし等を回収しております。もう一つが、プラモデルを作っているバンダイナムコと組んで、プラモデルの周りの枠を回収するプロジェクトを始めました。松江市総合体育館に回収ボックスを置いております。ボックスにプラスチックの枠を入れるとガンダムがメッセージを言ってくれます。勝手にですが、リサイクル3部作というしておりますが、こういった取り組みを通じてリサイクルをどういう風にしていけば良いのかというのを具体的に市民の皆さまにお知らせして一緒に取り組んでいるところです。

今回の計画についても、市民の皆さまが読んでいただける計画にしないといけないと思っています。計画書を見てこういう風に進めていけば良いんだと市民の皆さんが納得した上で実際に取り組んでいただけるような指針が必要であると思っております。観光の話や職人商店街というものを分かりやすく動画にまとめております。いかに、動画サイトまで見に来ていただけるかということではありますが、いろんな方に見ていただいた上で分かりやすく説明するようにしています。その一つの取り組みとして観光戦略プランはナレーションを松江市立皆美が丘女子高等学校放送部の原さんという方をお願いをしました。その方が高校生らしいすがすがしいアナウンスをしていただいて、観光戦略について語っていただいているというのも一つの見所としていこうと思っております。また、3月に策定した再生可能エネルギービジョンも非常に分かりやすいものにして、パンフレットも何種類か作成しております。動画も5分の動画は全部見ることは中々ないと思います。そこで、観光戦略プランは、導入部分として59秒の動画をつくっています。それを見て面白そうだなという人がその後3分50秒くらいの動画を見てもらうという風に浸透の仕方は色々努力が必要であると思っておりますが、そういった工夫をリーフレットなども用いながら今後やっていきたいと思っておりますのでそういったことについても是非ご意見をいただければと思っております。

先程、桑原委員からおっしゃっていただきました、ワカサギは、私も子どもの頃釣っていた記憶がありますけれども、最近取れないですね。自然環境が変わってきたということだと思います。ブルーカーボンの話もありましたけど、ワカメの養殖なんかもすることで、CO2を吸収するとともに特産品として出していけないかということも合わせて考えていきたいと思っております。また、ワカメだけではなくて宍道湖に自生しているヨシをつかってストローやメモ帳を作ろうとしていたり、シジミの貝殻をつかってチョークを作ろうと色んなことを始めています。ワカメみたいに商業ベースになれば良いですが、仮に商業ベースにならなくても子どもが使っているチョークが宍道湖のしじみの殻でできているという、リサイクルの循環が分かるだけで環境教育としては相当意味があると思いき、是非進めていきたいと思っております。そういったご協力をお願いします。ブルーカーボンについては、中国電力と組んで色々やろうと思っております。木ではなくて海藻や藻が二酸化炭素を吸収し、それをクレジット化してトレード、お金にするということを先端的に中電技術コンサルタントと

一緒に考えています。まだ、横浜や神戸といった大きな街でしかできていないものですが、松江市でも先端的にブルーカーボンをクレジット化していくという取り組みに向けて考えているところです。実際に中国電力は、鹿島の電子力発電所のところで高い波が来ないように、海底部分を盛り上げているため、太陽に近くなることで藻場ができて、吸収できた二酸化炭素のクレジット化を最近果たしたところです。いずれにしても行政だけでできることはすごく限られていまして、市民や企業の皆さんと組んで地球温暖化対策を進めていきたいと思っておりますので、次回以降、忌憚の無いご意見をいただき、もちろん行政も汗をかいていきますので、良いものを作った上で市民の皆さまに分かりやすく発信していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○松本会長

ありがとうございました。環境というと、頑張らなくてはいけなとか、しんどそうだなと感じる人もいますが、市長はとても楽しそうに発言されていて、日々生活していてこれは意味があるのだなとか、楽しいなと思うような仕組みづくりが実行計画の肝だと思うので、市長の発言を借りて力強く進めていけたらなと思います。

それでは、進行を事務局にお返します。

(6) 閉会

○石倉環境政策係長

ありがとうございました。次回審議会の開催につきましては、4月下旬を予定しております。後日改めて、ご都合をお伺いしますので、スケジュール調整をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして令和5年度第1回松江市生活環境保全審議会を閉会いたします。